

リハビリテーション職  
データで見る

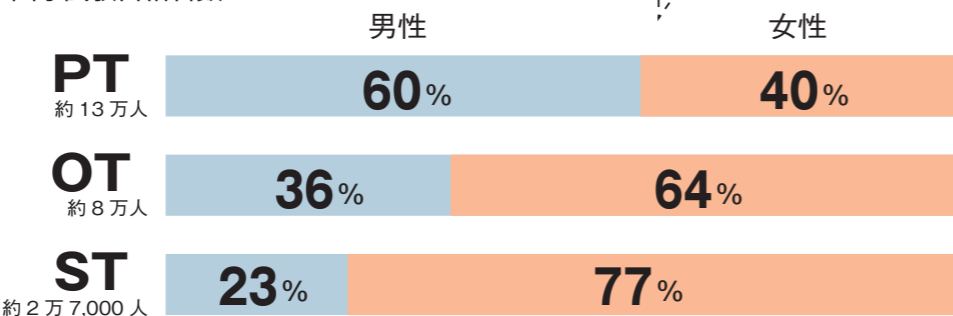
まずはリハビリテーション専門職の実態をグラフで見えます。1990年代に導入された規制緩和により養成校数は急増。資格を持つ人はうなぎのぼりで増加中です。活躍の舞台は病院から介護へという流れは必至。ケアマネジャーにとっても連携の場面はますます増えそうです。(編集部)

資格者数は PT 13万人 OT 8万人

2000年代から急増

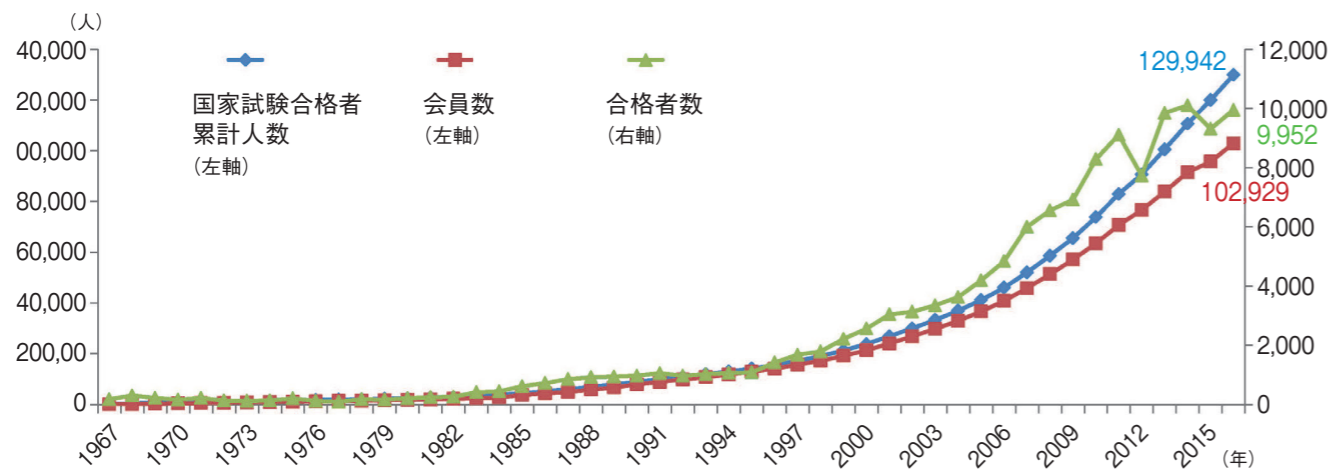
資格を持つ人の累計は、現在PT13万人、OT8万人、STは2万7,000人。2000年に入ってから急増していることが分かります。来たるべき高齢社会に備え、人数を増やそうと学校が急増しました。現在働いている人は、これ以降になった人が多く、若い職種であることが分かります。男女比をみると、男性が多いPTに比べ、OTは女性が逆転。STはさらに女子率が高く、人気の職種であることが分かります。

国家試験合格者数



出典：厚生省 第1回理学療法士・作業療法士需給分科会（2016年4月22日）より

理学療法士数の推移 日本理学療法士協会調べ H28.1 現在



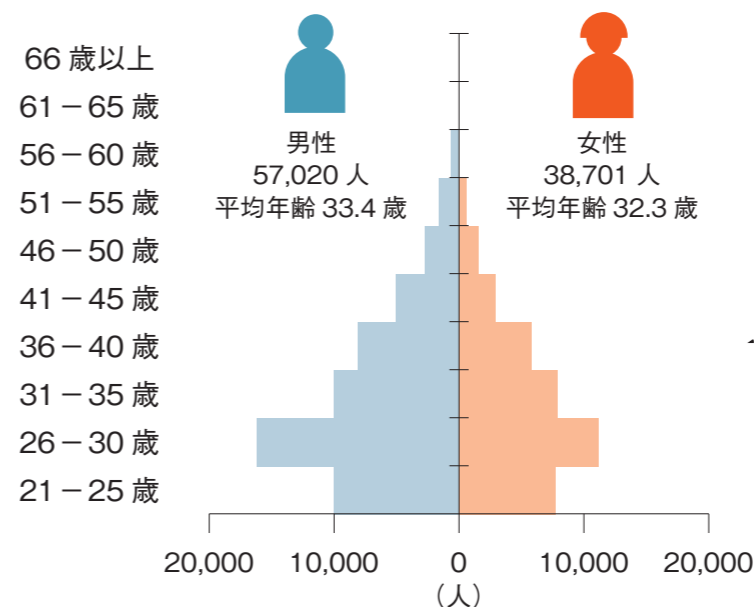
平成28年4月22日 第1回理学療法士・作業療法士需給分科会 資料5 (修正)

リハビリテーション専門職とは、次の三職種を指す。

- PT: 理学療法士 (Physical Therapist)
- OT: 作業療法士 (Occupational therapist)
- ST: 言語聴覚士 (Speech-Language-Hearing Therapist)



PTの年齢構成

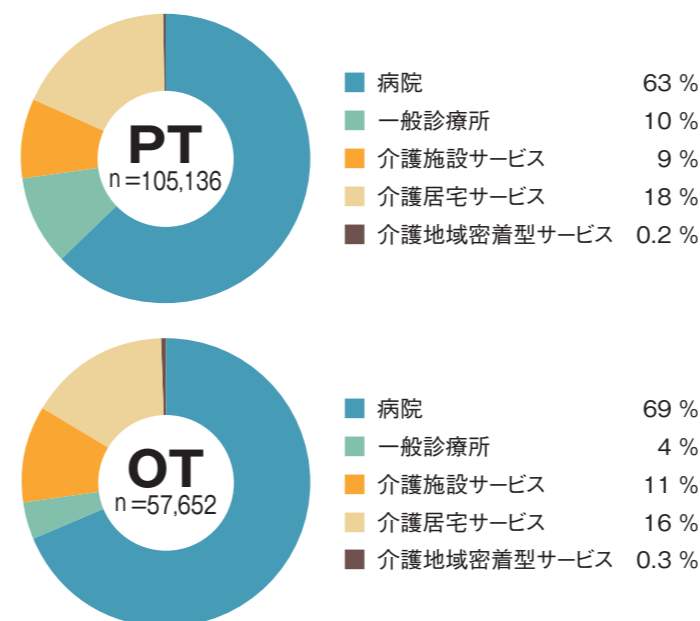


平均年齢30代前半

介護よりも断然若い!

ヘルパーやケアマネジャーなど40代以上の熟年層が活躍する介護現場に対し、30代が多数派を占めます。PTの年齢別ピラミッドが左図ですが、OT、STも基本は同じ。ただ女性が多いOT、STは、結婚・出産の時期に離職率や非常勤率が上がり、子育てが一段落すると常勤に復帰しています。

医療・介護の職場別のPT・OTの数 (常勤換算)



勤務先は医療が中心

意外に増えてる? 介護居宅サービス

医療機関で働いている人が多数を占めるものの、じわじわと介護分野で働く数が増えてきています。訪問看護ステーションやデイサービスを開業する人も(16p.参照)。

出典：第2回 理学療法士・作業療法士需給分科会資料 (2016年8月5日)